

安全確認表

脚立・梯子・足場使用作業

令和5年9月版

公益社団法人

愛知県シルバー人材センター連合会

【参考文献】

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会編
シルバー人材センター安全就業の手引 第六改訂

作業一般		✓
1	作業前には、周囲の状況を確認し、通行人等の部外者が作業現場に近付かないよう「作業中の表示」を施しているか。更に、通行人や通行車両が多い場合は、見張り役を配置しているか。	
2	服装・保護具・履物は、作業内容に相応しいものとなっているか。	
①	作業服は長袖シャツ・長ズボンを着用しており、袖じまり・裾じまりの良い服装となっているか。	
②	作業靴は、滑りにくく脱げにくい履物であるか。	
③	脚立・梯子・足場に乗る作業の場合は、高さにかかわらずヘルメットを適正に着用（あご紐を緩みなく締める、ズレがない）しているか。	
④	ヘルメットは、墜落時保護用で「保護帽の規格」に適合するものを使用しているか。	
⑤	ヘルメットは、使用の都度点検しているか。また、帽体の材質により3～5年が耐用年数であり、適正に管理しているか。	
⑥	ヘルメットの下に、帽子やタオル等を挟んでいないか。 ※ヘルメットメーカー等が推奨している「汗取り目的のキャップ」等を除く。	
⑦	安全帯は、規格に応じた適正なものを使用し、次の状態で使用しているか。	
	・ 安全帯は、「高所作業用安全帯 胴ベルト一本つり専用」を使用しているか。	

	・ 通常作業時に、身体を支える目的で安全帯を使用していないか。	
	・ 安全帯の耐用年数は（使い方により異なるが）ロープは2年程度、その他は3年程度を目安としているか。衝撃を一度でも受けた安全帯は取り換えているか。	
	・ 安全帯のフックは、頭より上の堅固な位置に掛けているか。	
	・ 安全帯のフックは、回し掛けをしているか。	
⑧	手袋を着用しているか。なお、刃物を使用する場合は、防刃手袋の着用が望ましい。	
⑨	飛散する枝葉等からの防御として、保護メガネ・フェイスシールド等の顔面保護具を着用しているか。	
3	脚立等の器具は、使用の都度点検を実施し、不具合が無いものを使用しているか。	
4	脚立等の器具を、不適正に使用していないか。	
5	作業が行われている脚立周辺に、はさみ・のこぎり等刃物類が放置されていないか。また、はさみの刃先が上向きで立掛けてないか。	
6	作業は複数人で行われているか。	
7	共同作業において、合図・連絡が正確に行われているか。	
8	複数人での刈り込み作業は、刃先に注意し、互いに接近しないようにすると共に、向い合う位置で作業を行っていないか。	

脚立使用作業		✓
1	脚立の設置は、次の基本に沿って行われているか。	
①	脚立の支柱と地面の角度が 75 度以下となるようにして使用されているか。(角度 75 度で適切に立てた場合、脚立の天板が地面と平行となる)	
②	脚立の前支柱と後支柱とでできる三角形が二等辺三角形となるように立てられているか。	
③	脚立を、たたんだ状態で剪定樹木等に立て掛ける等、不適正な使用をしていないか。	
④	使用していない脚立は、安全な場所に寝かせた状態で保管しているか。	
⑤	開閉止め(規則適合金具)を適正に施して設置しているか。	
⑥	地盤沈下するような場所では、ゴム板等の敷板を使って脚立を安定させているか。	
⑦	養生シート等のナイロン製の敷物や、タイル等の滑り易い場所に脚立の支柱が乗っていないか。また、踏ざんが水平にならないような傾いた場所に設置していないか。	
⑧	電線等の架線物に注意しているか。	
2	脚立上での作業は、次の基本に沿って行われているか。	
①	脚立上で、脚立に背を向けた姿勢での作業や昇降を行っていないか。	
②	脚立上で、身を左右に乗り出して作業を行っていないか。	

③	脚立上では、安全帯を常に腰に装着し、足元が地上から 200 cm 以上(脚立の下から 7 段目以上)での作業時、及び不安定な状態での作業時は、安全帯を使用しているか。	
④	脚立上で、真上を向いての作業が行われていないか。	
⑤	脚立上で、チェーンソー使用等の力を入れる作業が行われていないか。	
⑥	脚立の天板をまたいだり、天板に乗って(立って・座って)作業を行っていないか。	
⑦	脚立上では、天板を含め上から 3 段目以下の踏ざんで作業を行っているか。なお、200 cm (7 段) 以上の脚立の場合、天板を含め上から 4 段目以下の踏ざんで作業を行っているか。	
⑧	脚立上から、樹木や建物等に移り移るような行為をしていないか。	
⑨	脚立の昇降時、手に道具を持って行っていないか。飛び降りていないか。脚立に背を向けて昇降していないか。	
梯子使用作業		✓
1	梯子は、支柱の間隔(踏ざんの横幅)が 30cm 以上の丈夫なもので、下部に滑り止めが付いているものを使っているか。	
2	梯子は、地面との角度が 75 度になるように立て掛け、梯子の上部が 60cm 以上接点より上に出ているか。	
3	樹木等の円柱状のものに梯子をかけていないか。	

4	電線等の架線物の下に梯子を立てて作業を行っていないか。	
5	梯子上での作業は、次の基本に沿って行われているか。	
①	梯子上から、樹木や建物等に移り移るような行為をしていないか。	
②	梯子の使用中は、他の作業者が下部を支えているか。	
③	梯子の、上から 3 段目以上の踏ざんに乗って作業をしていないか。	
④	梯子の昇降時、手に物を持って行っていないか。飛び降りていないか。梯子に背を向けて昇降していないか。	
足場使用作業		✓
1	脚立を利用して足場板をかけ渡した足場は、次の基本に沿って設置されているか。	
①	2 本の脚立の設置間隔は 180 cm 以内となっているか。	
②	足場板の設置高は 200 cm 未満となっているか。	
③	足場板は、丈夫なものを使用し、たわみが大きくなっていないか。	
④	足場板は、作業床の幅が 40 cm 以上となるように 2 枚以上かけ渡されているか。	
⑤	足場板の両端は 20 cm 程度突出させ、ゴムバンド等で脚立にしっかりと固定されているか。	
⑥	足場板の上で、無理な姿勢での作業が行われていないか。	